１　実践の概要

テーマ	「自衛隊活動の理解と災害への備え、救助方法等について」
外部指導者	自衛隊秋田地方協力本部　後藤　拓朗　氏
実施日時	令和５年７月２６日（水）　午後１時３０分から　３時３０分まで
実施場所	秋田県立栗田支援学校
参 加 者	教職員　　70名

２　実践内容

講演や演習等の様子（職員研修）

１　防災講話（災害派遣における訓練）　全体演習

２　・救急法（止血法等）　グループ演習

・ロープワーク　グループ演習

・車両、装備等の参観　グループ演習

３　参加者の感想

職　　員	・災害が発生した際は、最善策を考え臨機応変に行動することが重要だと感じた。 ・止血法は校外に出て養護教諭がいない状況や緊急性の高いときに実践したい。 ・避難訓練の必要性を改めて感じたので、子どもに伝えていきたい。 ・生徒の命、安全を守るため、常により確実な安全策を考えていきたい。 ・止血や救助の仕方など、必要になった場面（学校、日常生活）で生かしたい。 ・災害は常に起こることを想定して行動していきたい。 ・実際に災害が起きたときは避難訓練を良い意味で信じすぎないこと、臨機応変な対応も求められるということを忘れないようにしたい。 ・身の回りにあるものが防災時には役に立つことを知ることができた。 ・ロープワークは１回で覚えられなかったので、また体験してみたい。